

# 資料 4 - 5

## 参考

### 平和に関する教育についての企画の説明文 (教養教育ガイダンス説明用資料から抜粋・依頼文の3 (1) 関連)

広島大学はめざす理念の第一に、「平和を希求する精神」を掲げています。初代学長の森戸辰男先生は、広島大学を原爆投下後の平和都市広島における文化的精神的な中心として位置づけ、現在の学長浅原先生も、そのことを大変重視しておられます。また、世界の多くの人びとが広島大学に期待している役割は、原爆という悲惨な経験と多くの犠牲の中で、独自の平和についての理念をもち、メッセージを発することです。

そうした観点から、広島大学では絶えず平和について考えることを通じて豊かな人間性を培っていくということを目指し、来年度に教養教育で「平和に関する授業」を立ち上げることにしております。この授業は、広島大学の学生・教職員が理念を共有できるようにすることを目指しておりますので、是非皆さんにも授業の立ち上げに参加していただきたいのです。

具体的には、すでにパンフレットを持っていらっしゃると思いますが、そこに上げている施設をはじめ平和に関わるモニュメントを自主的に見学し、それについてのレポートを書いてほしいのです。レポートの中には「平和に関する授業」についてのアンケートも入っています。モニュメント見学は「平和に関する授業」でも積極的に取り上げていきたいのですが、今回の見学では率直な感想を書いていただき、それを来年から立ち上げる授業に反映させたいと思っています。

パンフレットには、平和に関する簡単な定義を書いています。平和の問題は一様ではありません。ですから、広い視野から考えてほしいですし、モニュメントもここに掲げられているものだけとは限りませんから、自分で自由に選んでもらって結構です。

レポートの提出は学長からの宿題です。5月7日(水)までに、学長あてに全員が提出してください。修学支援グループの部屋の前に回収箱を置いておきますから、そこに入れてください。また、わからないことがあったら、修学支援グループに問い合わせてください。